



たかひば

～ひばりのように高く舞い上がれ～



令和7年11月28日

「いしかわっ子駅伝」新記録樹立

校長 山崎 勝則



先月の学校だよりで私が金沢マラソンを走った記事を載せました。周囲から労いの言葉や称賛をいただきありがとうございました。しかしその直後、私のマラソン完走なんて吹き飛ぶくらいの凄いことを子ども達が成し遂げました。

「第20回いしかわっ子駅伝交流大会」で男子優勝、女子準優勝。過去の大会結果をさかのぼって見てみると一つの学校で男女が1位・3位というのがありましたが1位・2位というのは初めてで過去一の好成績でした。これを越えるためには男女アベック優勝しかありません。

地域の野球チームも県で1位と、高松小のスポーツに対する熱い気持ちが伝わってきますね。

しかし、高松小はスポーツだけではありません。科学研究物でも県教育委員会賞をとるなど11月の集会では表彰の嵐が吹き荒れました。

賞状や県で1番2番が注目されますが、それ以上に大切なことがあると思います。それは「自分に勝つ」ということです。人それぞれ得意なことや苦手なことがあります。得意なことをさらに伸ばし、苦手なことを克服すること。そしてそのために努力し続けること。

高松小の子ども達にはあきらめず努力する子になってほしいと願っています。その大きな原動力は他から認められることです。そして、学校だけでなく地域や家庭が子ども達を応援してくれていることが新記録の樹立にもつながったのだと思っています。

「たかひばカード」も新記録樹立

たかひばしら

伸びや努力の継続でハンコやシールを10個貯める「たかひばカード」、昨年度の2学期は500枚ぐらいでした。

今年度の2学期は今日現在で、何と、617枚。カードの種類も当初計画していた鋼、銅、銀、金、白金の5種類から20種類にバージョンアップ、それでも全てのカードを終了し「たかひばしら」になった強者もいます。

子ども達には繰り返し伝えているのは「たくさんカードをもらうことより、努力を続けることがすごい」ということです。

私は、なかなかハンコやシールがたまらない子のカードを「ダイヤモンドカード」と呼んでいます。

ひたむきに努力を続ける「ダイヤモンドカード」を、今日も、明日も、明後日も……ずっと校長室で楽しみに待ち続けています。

努力を続ける自分に 一片の悔いなし！

